

# 大槌町 津波避難マップ

平成 29 年 6 月修正

## 「津波避難マップ」の活用について

- このマップには、津波からの避難に必要な「避難場所」、「避難所」、「東日本大震災の津波浸水区域」などを掲載しています。
- 「東日本大震災での避難の教訓」や、「津波の基礎知識」を参考に、身近な「避難場所」やそこに至る安全な避難路を確認しましょう。特に、「想定外」の津波も考慮し、より安全な避難先を複数確認することが重要です。
- 自分だけでなく、家族や町内会、企業等の単位で避難計画を検討しましょう。

\*お問い合わせ先 大槌町危機管理室：0193-42-8781

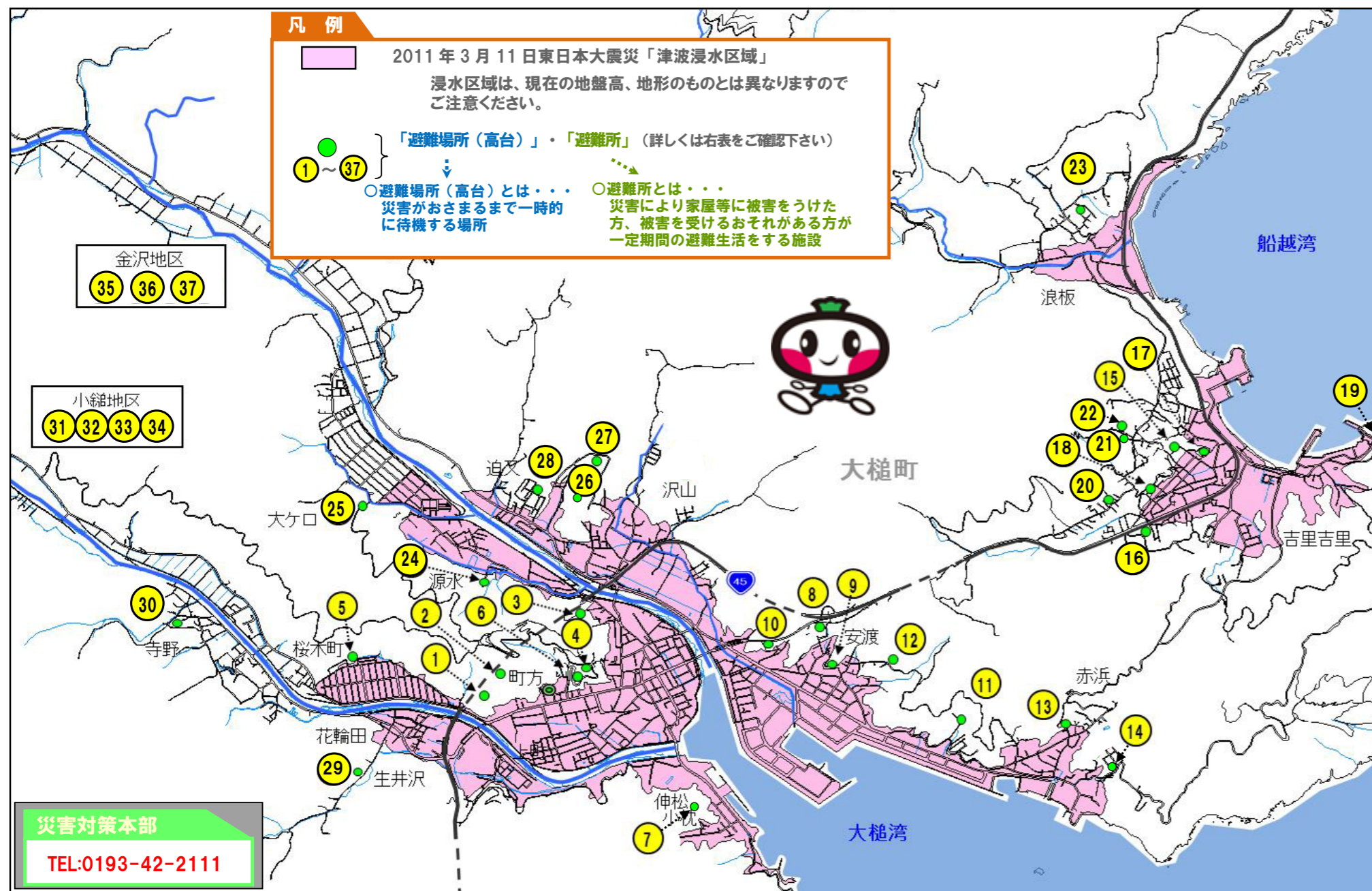
## 東日本大震災での避難の教訓（地図下の※1～5をあわせて確認）

- 「想定外」(ここまで来ない)による逃げ遅れ ▶ 大きな揺れ、津波警報が出たら、迷わず、「率先避難」・「声かけ」 **地図**
- (判断・行動に必要な)「情報待ち」による逃げ遅れ ▶ 情報収集に努めるが、なくても、「率先避難」・「声かけ」 **※1・2**
- 家族の安否が気になり、逃げ遅れ ▶ 事前の家族会議(てんでんこ)と事後の「災害伝言ダイヤル」 **※3・5**
- 避難行動要支援者・支援者の逃げ遅れ ▶ 家族や町内会等で「支援ルール」・「自助ルール」を検討 **地図**
- 過去の浸水範囲での様子見(ここまで来ない) ▶ より安全な高台を目指して「再避難」 **※5・地図**
- 道路渋滞による逃げ遅れ ▶ 「徒歩避難」の原則、「車での避難ルール」を地区・町で検討 **地図**
- モノを取りに・安否確認のため低地に戻り、逃げ遅れ ▶ 低地への「戻り」を制止、「持ち出し袋」(リスト)を準備 **※4**

その他、地域で震災の教訓を語り合い、次世代に継承しましょう！

## 津波の基礎知識

- 津波は、大きな地震の後に大きな津波が来る
- 津波は、震源が近いほど早く来る
- 津波は、引き波で始まるとは限らない(押し波も)
- 津波は、第1波が最大とは限らない
- 津波は、水深が深いほど速いが、陸上でもオリンピック選手並みの速さ
- 津波は、繰り返し来る
- 津波は、人間の「想定」を越える
- 津波は、警報どおり来るとは限らない
- 津波は、揺れを感じなくても来る(遠地津波)



NO.	所在地区	町指定緊急避難場所(高台)・避難所名	標高(m)	避難場所	避難所	収容人数
1	町方	小鍬神社裏山	9.3	●		
2		大念寺裏山	10.0	●		
3		蓮乗寺裏山	15.0	●		
4		中央公民館	39.0	●		
5		桜木町裏山	10.0	●		
6		城山公園体育館	30.0		●	390
7	小枕	小枕高台	20.2	●		
8	安渡	安渡分館・避難ホール	21.6	●	●	370
9		大槌稲荷神社(二渡神社)	25.0	●		
10		大徳院	20.0	●		
11		惣川高台	12.0	●		
12	古学校高台	37.0	●			
13	赤浜	八幡神社境内	20.0	●		
14		3丁目高台	19.7	●		
15	吉里吉里	吉里吉里学園小学部	22.0	●	●	110
16		吉里吉里地区体育館	23.0	●	●	220
17		天照御祖神社	20.0	●		
18		吉里吉里駅前広場	22.0	●		
19		集荷場裏山	20.0	●		
20		花道児童公園	34.0	●		
21		門前(寺前)	50.0	●		
22		吉祥寺三光殿	65.0	●	●	150
23	浪板	交流促進センター	28.0	●	●	100
24	源水	源水裏山	13.0	●		
25	大ケ口	大ケ口裏山	10.0	●		
26	沢山	大槌学園	25.0	●	●	1,000
27		大槌高等学校	29.0	●	●	840
28	迫又	迫又団地高台	16.5	●		
29	花輪田	生井沢裏山	10.0	●		
30	寺野	臼澤鹿子踊伝承館	16.0	●	●	100
31	小鍬	小鍬地区多目的集会所	74.0	●	●	50
32		蕨打直集会所	48.0	●	●	50
33		旧小鍬小学校	66.0	●		
34		長井清流館(長井分館)	360.0	●	●	60
35	金沢	かみよ稲穂館(渋梨分館)	35.0	●	●	90
36		旧金沢小学校体育館	118.0	●	●	390
37		金沢地区生活改善センター	110.0	●	●	40

災害対策本部  
TEL:0193-42-2111

防災行政無線を聞き逃した場合は？(※1)  
下記番号にお電話いただければ、24時間以内の放送内容に限り、直近のものから繰り返し聞くことができます。  
TEL:0193-42-5390

いわてモバイルメールに登録しましょう(※2)  
防災情報などが、携帯電話・スマートフォンのメールアドレスに届きます。下記のURLから登録できます。  
<http://www.highway.pref.iwate.jp/mobile/>

「災害用伝言ダイヤル」(固定電話)の使い方(※3)  
伝言の録音及び再生により、家族との連絡を可能にするものです。  
◎録音する時は 171-1-0193-自宅の電話番号  
◎再生する時は 171-2-0193-自宅の電話番号

持ち出し品の用意をしておきましょう(※4)  
●水、乾パン、缶詰等の飲食品  
●軍手、靴下、下着、雨具、防寒着類  
●常備薬、絆創膏等の救急セット  
●現金、保険証、通帳、印鑑等の貴重品  
●懐中電灯、携帯ラジオ、電池  
●赤ちゃんのおむつ、粉ミルク、家族の写真等

家族で避難場所等を相談しておきましょう(※5)  
我が家の避難場所 ( )  
家族の集合場所 ( )

※ 避難所となる学校や体育館等の施設への分散備蓄を進めています。(アルファ化米、保水水、ドライミルク、毛布、衛生品、災害用トイレ、発電機等)  
※ 揺れが大きい時は、落下物や転倒しやすいものに注意しましょう。